

平成21年3月13日

「週刊女性」編集部
編集長 殿

社団法人 日本冷凍食品協会
常務理事 山本宏樹

週刊女性3月24日号の「冷凍食品工場に潜入チェック!!」記事について

前略 御社発行の「週刊女性」3月24日号を拝見しましたが標記の記事内容について問題と思われる記載が数箇所ありました。これは先般2月27日に当協会がメディアの皆様を対象に実施したニチレイフーズ船橋工場の見学に参加された御社の記者が書かれたものです。特に以下の1～2については工場が述べた重要な説明が欠落しており読者に意図的に悪印象を与えかねない表現となっております。また、当工場についての見学であるにもかかわらず説明資料に中国工場についての記載がないことを指摘した的外れな批判であること等の問題もあります。

つきましては、平成21年3月19日までに文書にて掲載意図の説明と記事の訂正を求めます。

併せて以下の3～5についても、下記各項目に記載の当方のコメントに対する御社の見解を求めるものです。

草々

1. 記事: 「おにぎり以外に冷凍庫やシュウマイ、コロッケ、フライラインは機械が大きくて危険「ラインの最後しか見せられないから」という珍妙な理由で見せてもらうことはできなかった。」

この点は工場側の説明の通りで、ノウハウに関わる部分があること、場所が狭く見学される方と説明する工場関係者、事務局を含めた大人数で立ち入りしにくい状況であるといったことについてご説明した次第で他意はありません。特にノウハウ保持についての掲載がなく「珍妙な理由」との表現は極めて不適切と考えます。おにぎりラインだけが良くて他の場所は隠す必要があると思われるたとすれば、全くの誤解と言わざるを得ません。

2. 記事: 「なんで資料に中国の工場のことがないんでしょうね? ほかの工場の安全性はどうなんでしょう」

今回は船橋工場の見学会ですので同工場の資料を差し上げました。その意味で系列企業とはいえ中国工場の資料掲載がないとのご指摘は適切でないと考えます。

基本的には補足的に説明しました通り、各社とも本社の品質保証部門は、自営の工場以外の投資会社、委託生産先全てについて各社が定める一定の基準に合致している工場でしか生産を認めておりません。さらに定期的にこれらの工場を監査し不適合があれば生産中止等の処置を講じていることは、ご説明した通りです。

3. 記事: 「従業員の犯罪や添加物の問題を含めた製造過程全体の不透明さにあるって事がわかってないんですかね」

製造事業者としても消費者の皆様にご事実をお伝えしたいと考えて、メディアの方に現場をご覧いただいているつもりです。残念ながら「従業員の犯罪や、添加物の不透明」といった中国に対するような感覚が日本でもイコールという先入観で見られているということは大変残念です。いずれについても、現状での最善は尽くしているつもりです、見ていただいたものが事実です。

4. 記事: 「(天洋食品事件の原因について)個人の責任にするなら日本も性善説だけで対応するのは難しくなるかも知れない」

協会の広報担当が犯罪と申し上げたのは、事実をお伝えしただけで、犯罪を防止する問題について触れていなかったと思います。最近では日本国内も全て性善説で対応しているわけではありません。この点について今回の工場見学でご理解いただけたかどうか判りませんが、一方で確信犯による犯罪の防止が相当難しいことは最近の諸事件から見てどのようにお考えでしょうか。

5. 記事 「冷凍食品は逆になぜ安いのか、なぜ安くしても安全なのかを徹底してPRしないとだめですよ」

ご忠告ありがとうございます。製造事業者も意図的に安くしているわけではありません。何とかこの状況を改善すべく努力致しております。ただし安いからといって安全性をないがしろにしていることは全くありません。安売りの現状についてはメディアの方々にも是非改善に向けてご協力をお願いしたい思いです。

以上

尚、本件に関する連絡先は以下の通りです。

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町10-6 桂屋第2ビル内
社団法人 日本冷凍食品協会 TEL: 03-3667-6671
FAX: 03-3669-2117